

2010年度（2010年1月～12月）連結決算短信

会 社 名	アフラック・インコーポレーテッド
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所 属 部	東証市場第一部
決 算 期	本決算： 年1回（12月） 中間決算： 四半期毎
問 合 わ せ 先	長島・大野・常松法律事務所（Tel：03-3288-7000） 弁護士 門 田 正 行

1. 本国における決算発表日： 2011年2月1日（火曜日）

2. 業 績

	第4四半期（10月～12月の3ヶ月間）			累計額（1月～12月の12ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益	百万ドル 5,294	百万ドル 4,597	% 15.2	百万ドル 20,732	百万ドル 18,254	% 13.6
税引前純利益	百万ドル 667	百万ドル 343	% 94.8	百万ドル 3,585	百万ドル 2,235	% 60.4
純利益	百万ドル 437	百万ドル 251	% 73.7	百万ドル 2,344	百万ドル 1,497	% 56.6
1株当たり純利益 （基本）	ドル 0.93	ドル 0.54	% 72.2	ドル 5.00	ドル 3.21	% 55.8
1株当たり純利益 （希薄化後）	ドル 0.92	ドル 0.53	% 73.6	ドル 4.95	ドル 3.19	% 55.2

配当金の推移		
	当年度（2010年度）	前年度（2009年度）
第1四半期	0.28 ドル	0.28 ドル
第2四半期	0.28	0.28
第3四半期	0.28	0.28
第4四半期	0.30	0.28
合計	1.14 ドル	1.12 ドル

（注）原則として各四半期に決定された配当金である。

3. 概況・特記事項・その他

特になし



会社名:アフラックインコーポレーテッド
株式銘コード:8686
問い合わせ先:アフラック日本社 IR サポート部
村上 一郎 (Tel:03-3344-0481)

Aflac Incorporated は 2010 年度第 4 四半期の業績を発表

2011 年度 1 株当たり事業利益目標を確認

2011 年度第 1 四半期現金配当を発表

ジョージア州、コロンバス - 2011 年 2 月 1 日

Aflac Incorporated(以下、「当社」) は本日、2010 年度第 4 四半期の業績を以下のとおり発表しました。

今四半期の収益合計は、期中 8.6%の円高ドル安の恩恵も受けて、前年同期の 46 億ドルから 15.2%増の 53 億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の 2 億 5,100 万ドル(希薄化後1株当たり 0.53ドル)から 4 億 3,700 万ドル(希薄化後1株当たり 0.92ドル)となりました。

今四半期の当期純利益には、税引後資産運用実現損失 1 億 9,100 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.41ドル)が含まれています。なお、前年同期の当期純利益には、3 億 700 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.65 ドル)の税引後資産運用実現損失が含まれていました。また、有価証券取引による資産運用実現利益 2,700 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.05ドル)を計上しております。今四半期、当社はアライド・アイリッシュ銀行、アイリッシュ・ライフ・アンド・パーマネント社およびアイフル株式会社への投資の減損と、その他いくつかの小規模な有価証券取引にかかる実現損益や減損を計上した結果、その損失額は 2 億 6,300 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.56ドル)となりました。アライド・アイリッシュ銀行については、2010 年度終了後、減損後の帳簿価格で売却しています。さらに、

当社は2010年1月1日に適用した会計基準編纂書(以下、「ASC」)第810号の規定により連結を求められた一部の変動持分事業体に係る通貨スワップ、金利スワップおよびクレジット・デフォルト・スワップの評価による利益4,500万ドル(希薄化後1株当たり0.10ドル)を計上しました。これらのスワップに関連する債券においては、2010年12月31日現在、未実現利益が認識されており、また、それらの債券の公正価値の増減は株主持分に反映されています。

当社は、事業利益(米国会計基準 GAAP 外の指標)の分析は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引による資産運用実現損益と、ASC 第810号およびASC 第815号の適用による影響ならびにその他の非経常的損益を除外した、当社事業から得られる利益です。資産運用実現損益、ASC 第810号およびASC 第815号の適用による影響ならびに非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響し、当社保険事業の実態や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたって事業利益を用いています。

さらに、当社事業全体に占めるアフラック日本社(以下、「日本社」)の割合が大きいため、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたって、当該期間の平均円/ドル為替レートを、また貸借対照表の作成にあたっては期末の円/ドル為替レートを、それぞれ使用していますが、限られた取引を除いて、実際の取引で円をドルに両替することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は財務諸表作成の目的にのみ利用するもので、当社や株主の皆様に対して実際に経済的な意味を持つものではないと考えています。また、為替変動によって当社事業の成長率が歪められてしまうため、当社は、財務諸表を使って当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外すべきであると考えています。本リリースの最後に為替変動の影響を含めた場合とそれを除外した場合の業績数値の比較表を掲載していますので、ご参照ください。

今四半期の事業利益は前年同期の5億5,800万ドルから6億2,800万ドルとなりました。希薄化後1株当たり事業利益は前年同期の1.18ドルから12.7%増加し、1.33ドルとなりました。為替レートが円高ドル安に推移したことで、今四半期の希薄化後1株当たり事業利益は0.06ドル押し上げられました。

今四半期、当社は200万株の自己株式を取得しました。2010年12月31日現在、当社の自己

株式取得承認枠は、3,040 万株となっています。

2010 年通年の業績も円高ドル安の恩恵を受けました。収益合計は前年同期の 183 億ドルから 13.6%増加し 207 億ドルとなりました。当期純利益は前年度の 15 億ドルから 23 億ドルに、希薄化後 1 株当たり当期純利益は 3.19ドルから 4.95ドルになりました。一方、通年の事業利益は前年度の 23 億ドルから 26 億ドルに、希薄化後 1 株当たり事業利益は前年同期 4.85ドルから 5.53ドルとなりました。円高ドル安によるプラスの影響は希薄化後 1 株当たり 0.19ドルですので、これを除くと、2010 年度の希薄化後 1株当たり事業利益は 10.1%増加しました。

運用資産および現金・預金合計は、2010 年 9 月 30 日時点で 856 億ドルであったのに対し、2010 年 12 月 31 日現在で 882 億ドルでした。運用資産および現金・預金の増加は、主として今四半期末の円／ドル為替レートが第 3 四半期末に比べて円高ドル安であったためです。

2010 年 12 月 31 日現在の株主持分は、2010 年 9 月 30 日現在と変わらず、111 億ドルでした。株主持分に含まれている運用資産およびデリバティブに係る未実現利益(ネット)は、2010 年 9 月 30 日現在が 5 億 9,200 万ドルであったのに対して、2010 年 12 月 31 日現在は 6,400 万ドルでした。1株当たり株主持分は、2010 年 9 月 30 日現在が 23.63ドルであったのに対し、2010 年 12 月 31 日現在は 23.54ドルでした。今四半期の平均株主持分に対する利益率は年換算で 15.7%でした。事業ベース(資産運用実現損失と ASC 第 815 号による当期純利益への影響および株主持分に係る運用資産ならびにデリバティブの未実現損益を除く)で見ると、今四半期の平均株主持分に対する利益率は年換算で 23.3%でした。

日本社

円ベースで見ると、今四半期の日本社の保険料収入は 4.4%増加しました。円ベースの投資収益(ネット)は、日本社の今四半期の投資収益のおよそ 32.6%がドル建てのため、円高ドル安の影響で前年同期と変わりませんでした。収益合計は 3.5%増加しました。主として保険金給付金比率が前年同期より上昇したため、今四半期の税引前事業利益率は前年同期の 18.7%から 18.6%とわずかに低下しました。保険金給付金比率の上昇は、売り止めにした痴呆介護保険契約の一部に対する責任準備金の調整によるものです。円ベースの税引前事業利益は 2.9%増加しました。

一方、2010 年通年の保険料収入は 3.8%、投資収益(ネット)は 1.6%、収益合計は 3.4%、税引前事業利益は 10.0%それぞれ前年度に比べて増加しました。円高ドル安の影響を除くと、2010 年度の保険金給付金比率は 59.5%で、2009 年度の 60.4%に比べ改善されています。

今四半期の平均円/ドル為替レートは、前年同期が 1ドル=89.70 円であったのに対し、8.6%円高ドル安の 1ドル=82.58 円でした。一方、2010 年通年の平均円/ドル為替レートは、前年度が 1ドル=93.49 円であったのに対し、6.6%円高ドル安の 1ドル=87.69 円でした。

ドルベースで見ると、円高ドル安を反映して、今四半期の保険料収入は 13.3%増加し、36 億ドルとなりました。投資収益(ネット)は 8.6%増加し、6 億 4,300 万ドルとなりました。収益合計は 12.3%増加し、43 億ドルに、税引前事業利益は 11.8%増加し、7 億 9,800 万ドルとなりました。2010 年通年では、ドルベースの保険料収入は 10.8%増加して 135 億ドルに、投資収益(ネット)は 8.3%増加して 25 億ドルとなりました。収益合計は 10.3%増の 160 億ドルに、税引前事業利益は 17.3%増の 33 億ドルとなりました。

日本社の今四半期の新契約年換算保険料は 6.5%増加して 371 億円(4 億 4,800 万ドル)に、2010 年通年の新契約年換算保険料は 11.0%増加して 1,358 億円(16 億ドル)となりました。今四半期の銀行窓販の実績は、過去最高の 70 億円となり、前年同期に比べて 140.4%、2010 年第 3 四半期に比べて 18.4%増加しました。2010 年 12 月 31 日現在、364 の金融機関(日本の全金融機関の 90%以上)が当社と販売契約を結んでいます。銀行チャネルが販売に大きく貢献するようになってきたため、日本社は、商品ラインを銀行のニーズにより合致させるよう、改良を行っています。これには、あらかじめ決められた年齢に達した時点で死亡保障を年金、医療保障または介護保障に変更できる終身保険「WAYS」と、主として子どもの高校・大学入学時にかかる多額の資金準備に役立つ学資保険が含まれています。「WAYS」の販売は、今四半期で 149.9%、2010 年通年で 65.7%それぞれ増加しました。また、学資保険の販売は今四半期で 67.4%、2010 年通年で 132.0%それぞれ増加しています。

医療保険分野は今四半期と 2010 年通年両面の販売に最も大きく貢献し、それぞれ全体の販売の 29.8%と 34.2%を占めました。医療保険の販売は堅調だったものの、最高記録を達成した 2009 年、とりわけ好調だった第 4 四半期との比較となったことから、予想どおり、「特約 MAX」を含

む今四半期と2010年通年の医療保険の販売は、それぞれ29.4%、3.2%の減少を記録しました。がん保険も、今四半期と2010年通年の販売に安定して貢献し、それぞれ全体の21.4%と22.0%を占めました。がん保険の今四半期の販売は7.4%増、2010年通年の販売は13.5%減となりました。アフラックは日本において医療保険およびがん保険の販売No.1の地位を維持しております。

米国社

今四半期の米国社の保険料収入は1.0%増加し、11億ドルとなりました。投資収益(ネット)は16.1%増の1億4,400万ドル、収益合計は2.5%増の13億ドルとなりました。税引前事業利益は、今四半期、保険金給付金比率と事業費率が改善され、投資収益(ネット)が大きく増加したことから、42.3%増の2億2,500万ドルとなりました。一方、2010年通年では、保険料収入は3.2%増の46億ドルとなりました。投資収益(ネット)は9.9%増の5億4,900万ドル、収益合計は3.9%増の51億ドル、税引前事業利益は19.2%増の9億2,400万ドルとなりました。

米国における経済状況は引き続き米国社の販売成長の課題となっています。今四半期の新契約年換算保険料は2.3%減少し、4億900万ドルでした。今四半期の新契約年換算保険料には、アフラック団体保険社による販売4,260万ドルが含まれています。今四半期のアフラック団体保険社による販売は前年同期に比べ58.7%増加し、2010年通年のアフラック団体保険社の販売全体の51.4%を占めました。

2010年通年の新契約年換算保険料は、前年同期に比べて4.9%減の14億ドルで、このうち8,280万ドルは、アフラック団体保険社の販売によるものでした。今四半期の新規募集人の採用数は8.5%減少しましたが、減少率が25.4%だった2010年当初9ヶ月間に比べると、大きく改善されています。

現金配当

取締役会は、第1四半期の現金配当を発表しました。第1四半期の現金配当は1株当たり0.30ドルで、2011年2月15日市場終了時点の登録株主に対し、2011年3月1日に支払われます。

今後の見通し

今四半期および2010年通年の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。「依然として困難な経済状況が続く中、この一年はアフラックにとり財務面においては大変堅調な一年となりました。当社の業績は、今四半期、2010年通年ともに当社の経営指針と合致していました。為替変動の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益の成長率は、当社の目標であった前年比9%–12%増と一致しています。」

「日本社は、好調な販売実績を残した2009年に引き続き、今四半期および2010年通年ともに高い実績を挙げました。販売網を拡充し、それぞれのチャンネルに適切な商品を提供していくという当社の戦略が、2年連続の販売目標達成に結実しました。2010年は、銀行窓販の年となり、日本の金融機関の90%以上がアフラックと販売契約を結び、販売に携わっています。私たちは、また、既存の商品ラインの給付内容を強化し、新しい市場セグメントにアピールできるよう商品のカスタマイズを行っています。日本の事業は年間を通じて引き続き売上の成長を加速させました。一方では、利益率の拡大も、日本社の利益の成長に貢献しています。」

「私たちはまた、米国の事業および財務実績にも満足しています。2010年年間を通じて述べてきたとおり、米国における販売成長は、主に引き続き低迷している経済環境によって抑えられました。私たちは、米国社の販売は、低迷が続く消費者マインドや中小企業の景況感に影響を受けていると確信しています。米国社の販売に対して短期的には慎重な見通しをもっているものの、米国市場に対する私たちの長期的な見解は変わっていません。私たちは、米国社が販売している商品へのニーズは依然として非常に強いと確信しており、これからも商品および販売戦略を通じて潜在顧客により密接にアプローチするための施策を取っていきます。この戦略には、既存の個人保険に団体保険を加えるという商品ラインの拡充が含まれています。」

「さらに、当社の資産は2010年年間を通じて強固で健全なものでした。私たちは運用資産と保険契約債務を効果的にマッチングさせるという当社の投資方針が、何よりもご契約者と株主の皆様のためになっていると確信しています。私たちは何にも増して当社の資本レベルの評価に大きく注力しています。米国規制当局の基準におけるアフラックの資本基盤は2010年年間を通じて強化されました。当社の目標は2010年末のリスクベース自己資本比率を2009年末の479%より高く

することでした。法定会計基準に基づく財務諸表はまだ完成していませんが、2010 年末のリスクベース自己資本比率は 580%を上回っていると予想しています。私は、強力なリスクベース自己資本比率を維持できる当社の能力は、当社の資本政策が効果的であることの表れであると確信しています。」

「増配または自己株式取得を行うかの決断は、資本基盤の関数であると考えています。高い資本レベルと強固な財務体質のおかげで、2010 年に当社が 28 年連続で現金配当を増やせたことを喜ばしく思っています。また、当社の資本基盤が私たちに自己株式取得プログラムを再開させる自信も与えてくれました。当社は今四半期に 200 万株の自己株式を取得しました。2011 年には 600 万-1,200 万株の取得を見込んでいます。」

「米国における 2011 年の販売のチャンスを考えるとき、失業率が改善される見込みはほとんど無く、依然として生活者や経営者の景気信頼感が比較的低いことから、私たちは、2011 年の米国社の販売成長は、対前年同額-5%増と予測しています。一方、日本社の販売成長は、過去2年間の実績が好調であったことから、対前年 2%減-3%増と予測しています。」

「第3 四半期の業績発表時に述べたとおり、当社の 2011 年度の 1 株当たり事業利益の成長率は、対前年 8%-12%増加という目標レンジの下の方の数値になると考えています。最近、米国において金利がいくらか上昇しているものの、日本ではそれほど上昇しておらず、円利回りは依然として低水準で推移しています。1 株当たりの利益成長率を 8%と仮定した場合、為替変動の影響を除いた希薄化後 1 株当たり事業利益は 5.97 ドルになります。また、2011 年年間の平均円/ドル為替レートが 1 ドル=80 円-85 円で推移した場合、年間の希薄化後 1 株当たり純利益は 6.09 ドル-6.34 ドルの間になると予想しています。」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に現金を迅速にお支払いします。過去 55 年以上、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国においては更新保障付保険販売における No.1 の会社で、日本においては個人保険の保有契約件数で第 1 位の生命保険会社です。世界で 5,000 万人以上の方が当社の保険に加

入しています。『Ethisphere』誌は4年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」に、また、『フォーブス』誌は、当社を保険業界における「米国で最も良い経営が行われている会社」に選出しています。2010年、『フォーチュン』誌は当社を9回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」に選出、また2011年には13年連続で「全米で最も働きがいのある企業100社」に選出しています。Aflac Incorporatedはフォーチュン500社に入っており、ティッカーシンボルAFLとしてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社に関するさらに詳しい情報はaflac.comをご覧ください。

今四半期の業績数値の補足資料(FAB Supplement)はaflac.com「Investors」ページから入手可能です。また、金融セクターに対する当社の全運用資産の一覧表および当社保有の永久証券の一覧表もaflac.com「Investors」ページでご覧いただけます。

当社は今四半期業績報告の電話会議の様子を2011年2月2日水曜日午前9時00分(米国東部標準時間)にaflac.com「Investors」ページ上で公開します。

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

12月31日に終了した3ヶ月間:

	<u>2010年</u>	<u>2009年</u>	<u>増減率</u>
収益合計	5,294	4,597	15.2%
保険金給付金	3,263	2,956	10.4%
新契約費及び事業費合計	1,364	1,298	5.1%
税引前当期純利益	667	343	94.8%
法人税等	230	92	
当期純利益	437	251	73.7%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	0.93	0.54	72.2%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	0.92	0.53	73.6%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	469,506	467,128	0.5%
希薄化後	473,758	471,121	0.6%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.30	0.28	7.1%

12月31日に終了した12ヶ月間:

	<u>2010年</u>	<u>2009年</u>	<u>増減率</u>
収益合計	20,732	18,254	13.6%
保険金給付金	12,106	11,308	7.1%
新契約費及び事業費合計	5,041	4,711	7.0%
税引前当期純利益	3,585	2,235	60.4%
法人税等	1,241	738	
当期純利益	2,344	1,497	56.6%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	5.00	3.21	55.8%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	4.95	3.19	55.2%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	469,038	466,552	0.5%
希薄化後	473,085	469,063	0.9%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	1.14	1.12	1.8%

Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

12月31日現在:

	2010年	2009年	増減率
資産:			
運用資産および現金・預金	88,230	73,192	20.5%
繰延新契約費	9,734	8,533	14.1%
その他の資産	3,075	2,381	29.1%
資産合計	101,039	84,106	20.1%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	82,456	69,245	19.1%
社債等	3,038	2,599	16.9%
その他の負債	4,489	3,845	16.8%
株主持分	11,056	8,417	31.3%
負債および株主持分合計	101,039	84,106	20.1%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	469,661	468,568	0.2%

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

12月31日に終了した3ヶ月間:

	<u>2010年</u>	<u>2009年</u>	<u>増減率</u>
事業利益	628	558	12.6%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	-236	-307	
ASC第810号適用による影響額	45	-	
ASC第815号適用による影響額	-	-	
債務消滅による利益	-	-	
当期純利益	437	251	73.7%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.33	1.18	12.7%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	-0.51	-0.65	
ASC第810号適用による影響額	0.10	-	
ASC第815号適用による影響額	-	-	
債務消滅による利益	-	-	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	0.92	0.53	73.6%

12月31日に終了した12ヶ月間:

	<u>2010年</u>	<u>2009年</u>	<u>増減率</u>
事業利益	2,618	2,277	15.0%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	-273	-788	
ASC第810号適用による影響額	-1	-	
ASC第815号適用による影響額	-	-3	
債務消滅による利益	-	11	
当期純利益	2,344	1,497	56.6%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	5.53	4.85	14.0%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	-0.58	-1.67	
ASC第810号適用による影響額	-	-	
ASC第815号適用による影響額	-	-0.01	
債務消滅による利益	-	0.02	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	4.95	3.19	55.2%

為替変動の業績への影響¹

(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2010年12月31日に終了した3ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く ²
保険料収入	10.1%	3.3%
投資収益(ネット)	10.0%	5.2%
保険金給付金および事業費合計	8.8%	2.1%
事業利益	12.6%	7.8%
希薄化後1株当たり事業利益	12.7%	7.6%

¹数値は本リリースにおいて定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

2010年12月31日に終了した12ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く ²
保険料収入	8.7%	3.6%
投資収益(ネット)	8.7%	5.0%
保険金給付金および事業費合計	7.0%	2.1%
事業利益	15.0%	11.0%
希薄化後1株当たり事業利益	14.0%	10.1%

¹数値は本リリースにおいて定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

2011年1株当たり事業利益予想

<u>平均円／ドル為替レート</u>	<u>年間1株当たり事業利益</u>	<u>対2010年増加率</u>	<u>為替の影響</u>
80	\$ 6.34 - 6.56	14.6 - 18.6 %	\$ 0.37
85	\$ 6.09 - 6.31	10.1 - 14.1 %	\$ 0.12
87.69*	\$ 5.97 - 6.19	8.0 - 11.9 %	\$ -
90	\$ 5.87 - 6.09	6.1 - 10.1 %	\$ -0.10
95	\$ 5.68 - 5.90	2.7 - 6.7 %	\$ -0.29

*実際の2010年の年間加重平均為替レート

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けている。規定によれば、その記述が明らかに将来に向けたものであり、報告書に記載した内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した、有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供しよう奨励している。当社は、この条項を活用したいと考えている。本文書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載している。こうした将来の見通しは、本報告書の本章「解説と分析」の中や、あるいはアナリストと当社役職員との議論、米国証券取引委員会(以下「SEC」)に提出された文書の記述に含まれている。将来の見通しについての記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績およびその他の進展事項に関するものである。さらに、予測情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受ける。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に見通しを述べる部類に入る。当社は、見通しに関するこうした記述について、最新情報を提供する義務までは負っていない。

当社が常に言及している事項のほかに、予測と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりである。

- ・ 世界資本市場および経済全般の困難な状況
- ・ 金融市場の安定化を目指す政府の行動
- ・ 当社の一部投資先の債務不履行および格付けの引き下げ
- ・ 金融機関の減損
- ・ 当社保有の永久証券に関連する信用およびその他のリスク
- ・ 運用資産の評価に適用される判断
- ・ 運用資産に係る減損金額の主観的な決定

- ・ 当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・ 特定のセクターに対する運用資産の集中
- ・ 日本に対する事業の集中
- ・ 保険業界における継続的な変化
- ・ 重要な金融および資本市場リスクに対するエクスポージャー
- ・ 為替相場の変動
- ・ 運用利回りの大幅な変動
- ・ 保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定と実績の乖離
- ・ 子会社が親会社に配当金を支払う能力
- ・ 法律および政府当局による規制の変化
- ・ 政府当局による規制の変化
- ・ 優秀なアソシエイツと社員を引きつけ、維持する能力
- ・ 当社の財務力と発行体格付けの引き下げ
- ・ 情報システムの改善・開発に係る能力
- ・ 米国および(又は)日本の会計基準の変更
- ・ 患者の個人情報保護の失敗
- ・ 訴訟の内容および結果
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 多くの死者および負傷者が出た大惨事
- ・ 内部統制やコーポレート・ガバナンス・ポリシーおよび手続きの失敗



News Release

FOR IMMEDIATE RELEASE

AFLAC INCORPORATED ANNOUNCES FOURTH QUARTER RESULTS,
AFFIRMS 2011 OPERATING EPS TARGET,
DECLARES FIRST QUARTER CASH DIVIDEND

COLUMBUS, Georgia – February 1, 2011 – Aflac Incorporated today reported its fourth quarter results.

Total revenues, benefiting from the 8.6% strengthening of the yen to the dollar in the fourth quarter, rose 15.2% to \$5.3 billion, compared with \$4.6 billion in the fourth quarter of 2009. Net earnings were \$437 million, or \$.92 per diluted share, compared with \$251 million, or \$.53 per share, a year ago.

Net earnings in the fourth quarter of 2010 included after-tax realized investment losses of \$191 million, or \$.41 per diluted share, compared with realized investment losses of \$307 million, or \$.65 per share, a year ago. Securities transactions produced realized investment gains of \$27 million, or \$.05 per diluted share, in the fourth quarter. Impairments of Allied Irish Banks, Irish Life and Permanent, and Aiful Corporation, combined with several other small security transactions and impairments, totaled \$263 million, or \$.56 per diluted share. Subsequent to year-end 2010, Aflac sold its holdings of Allied Irish Banks at the impaired price. In addition, the company realized a gain of \$45 million, or \$.10 per diluted share, from valuing foreign currency, interest rate and credit default swaps on certain variable interest entities that were required to be consolidated following adoption of Accounting Standards Codification (ASC) 810, effective January 1, 2010. The bonds associated with these swaps were in an unrealized gain position at December 31, 2010, and changes in the fair value of the bonds are reflected in shareholders' equity.

Aflac believes that an analysis of operating earnings, a non-GAAP financial measure, is vitally important to an understanding of the company's underlying profitability drivers. Aflac defines operating earnings as the profits derived from operations before realized investment gains and losses from securities transactions and the impacts from ASC 810 and ASC 815, as well as nonrecurring items. Management uses operating earnings to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations because realized gains and losses from securities transactions, the impacts from ASC 810 and ASC 815, and nonrecurring items tend to be driven by general economic conditions and events, and therefore may obscure the underlying fundamentals and trends in Aflac's insurance operations.

Furthermore, because a significant portion of Aflac's business is in Japan, where the functional currency is the Japanese yen, the company believes it is equally important to understand the impact on operating earnings from translating yen into dollars. Aflac Japan's yen-denominated income statement is translated from yen into dollars using an average exchange rate for the reporting period, and the balance sheet is translated using the exchange rate at the end of the period. However, except for a limited number of transactions, the company does not actually convert yen into dollars. As a result, Aflac views foreign currency as a financial reporting issue and not as an economic event for the company or its shareholders. Because changes in exchange rates distort the growth rates of operations, readers of Aflac's financial statements are also encouraged to evaluate financial performance excluding the impact of foreign currency translation. The chart toward the end of this release presents a comparison of selected income statement items with and without foreign currency changes to illustrate the effect of currency.

Operating earnings in the fourth quarter were \$628 million, compared with \$558 million in the fourth quarter of 2009. Operating earnings per diluted share rose 12.7% to \$1.33, compared with \$1.18 a year

ago. The stronger yen/dollar exchange rate increased operating earnings per diluted share by \$.06 during the quarter.

In the fourth quarter, Aflac repurchased 2.0 million shares of its common stock. At the end of December, the company had 30.4 million shares available for purchase under its share repurchase authorization.

Results for the full year also benefited from the stronger yen. Total revenues rose 13.6% to \$20.7 billion, compared with \$18.3 billion a year ago. Net earnings were \$2.3 billion, or \$4.95 per diluted share, compared with \$1.5 billion, or \$3.19 per share, in 2009. Operating earnings for the full year of 2010 were \$2.6 billion, or \$5.53 per diluted share, compared with \$2.3 billion, or \$4.85 per share, in 2009. Excluding the benefit of \$.19 per share from the stronger yen, operating earnings per diluted share rose 10.1% for the year.

Total investments and cash at the end of December 2010 were \$88.2 billion, compared with \$85.6 billion at September 30, 2010. The increase in total investments and cash primarily resulted from a stronger yen at the end of the period.

Shareholders' equity was \$11.1 billion at December 31, 2010, unchanged from September 30, 2010. Shareholders' equity at the end of the year included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$64 million, compared with a net unrealized gain on investment securities of \$592 million on September 30, 2010. Shareholders' equity per share was \$23.54 at the end of the year, compared with \$23.63 per share at September 30, 2010. The annualized return on average shareholders' equity in the fourth quarter was 15.7%. On an operating basis (excluding realized investment losses and the impact from ASC 815 on net earnings, and unrealized investment and derivative gains/losses in shareholders' equity), the annualized return on average shareholders' equity was 23.3% for the fourth quarter of 2010.

AFLAC JAPAN

Aflac Japan premium income in yen rose 4.4% in the fourth quarter. Net investment income in yen was unchanged, reflecting the stronger yen/dollar exchange rate because approximately 32.6% of Aflac Japan's fourth quarter investment income was dollar-denominated. Total revenues were up 3.5%. The pretax operating profit margin declined slightly from 18.7% to 18.6% for the quarter, due primarily to an increase in the benefit ratio for the quarter, compared with a year ago. The benefit ratio increase was due to reserve adjustments made to a closed block of dementia business. Pretax operating earnings in yen rose 2.9% in the fourth quarter. For the year, premium income in yen grew 3.8%, and net investment income was up 1.6%. Total revenues were up 3.4%, and pretax operating earnings increased 10.0%. Excluding the impact of a stronger yen, the benefit ratio for 2010 was 59.5%, compared with 60.4% for 2009.

The average yen/dollar exchange rate in the fourth quarter of 2010 was 82.58, or 8.6% stronger than the average rate of 89.70 in the fourth quarter of 2009. For the full year of 2010, the average exchange rate was 87.69, or 6.6% stronger than the full-year rate of 93.49 in 2009.

Reflecting a benefit from the stronger average yen/dollar exchange rate in the fourth quarter, premium income in dollars increased 13.3% to \$3.6 billion. Net investment income rose 8.6% to \$643 million. Total revenues were \$4.3 billion, an increase of 12.3%. Pretax operating earnings rose 11.8% to \$798 million. For the full year, Aflac Japan's results in dollar terms also benefited from the stronger yen/dollar exchange rate. Premium income rose 10.8% to \$13.5 billion. Net investment income increased 8.3% to \$2.5 billion. Total revenues were up 10.3% to \$16.0 billion. Pretax operating earnings were \$3.3 billion, an increase of 17.3% over a year ago.

Aflac Japan's total new annualized premium sales in the fourth quarter increased 6.5% to ¥37.1 billion, or \$448 million. For the year, total new sales were up 11.0% to ¥135.8 billion, or \$1.6 billion. Bank channel sales rose 140.4% to a record ¥7.0 billion in the fourth quarter, rising 18.4% from the third quarter. At the end of 2010, 364 banks, or more than 90% of the total number of banks in Japan, had agreements to offer Aflac products to their customers. As the bank channel has become a larger contributor to sales, Aflac Japan has enhanced its product portfolio to better meet the needs of banks. This includes WAYS, a whole life policy that can be converted to a fixed annuity, medical coverage or nursing care benefits at a predetermined age; and Aflac's child endowment product, which is primarily used to help fund the higher

costs associated with a child entering high school and college. Sales of WAYS increased 149.9% for the quarter and 65.7% for the year, and the child endowment product increased 67.4% for the quarter and 132.0% for the year.

The medical product category was the number one contributor to total sales for both the fourth quarter and full year, at 29.8% and 34.2%, respectively. Although sales in the medical category were solid, they faced record 2009 sales, particularly in the fourth quarter. As anticipated, medical sales, including Rider MAX, were down for the quarter and the year, posting a decline of 29.4% and 3.2%, respectively. Cancer insurance sales also made a solid contribution to total sales results both for the quarter and the year, accounting for 21.4% and 22.0% of total sales, respectively. Cancer insurance sales were up 7.4% for the quarter and down 13.5% for the year. Aflac maintained its position as the number one seller of medical and cancer products in Japan.

AFLAC U.S.

Aflac U.S. premium income increased 1.0% to \$1.1 billion in the fourth quarter. Net investment income increased 16.1% to \$144 million. Total revenues rose 2.5% to \$1.3 billion. As a result of improvement in the benefit and expense ratios and the strong increase in net investment income, pretax operating earnings increased 42.3% to \$225 million in the fourth quarter. For the year, premium income was up 3.2% to \$4.6 billion. Net investment income increased 9.9% to \$549 million. Total revenues were \$5.1 billion, up 3.9% from a year ago. Pretax operating earnings for the year rose 19.2% to \$924 million.

The economic climate in the United States continued to pose challenges for U.S. sales growth. Total new annualized premium sales in the fourth quarter declined 2.3% to \$409 million. New annualized premium sales for Aflac U.S. included sales from Aflac Group Insurance of \$42.6 million in the fourth quarter. This result represents an increase of 58.7% for the quarter and accounted for 51.4% of Aflac Group Insurance production for the year.

For the year, total new sales decreased 4.9% to \$1.4 billion, which includes new annualized premium sales of \$82.8 million from Aflac Group Insurance. Although recruitment of sales associates in the fourth quarter was down 8.5%, it showed significant improvement over the 25.4% decline in recruiting for the first nine months of the year.

DIVIDEND

The board of directors declared the first quarter cash dividend. The first quarter cash dividend of \$.30 per share is payable on March 1, 2011, to shareholders of record at the close of business on February 15, 2011.

OUTLOOK

Commenting on the company's fourth quarter and full-year results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "Aflac had a very solid year from a financial perspective, despite ongoing challenges in the economic landscape. Our results were consistent with our guidance for the fourth quarter and the full year. Growth of operating earnings per diluted share was in line with our goal of a 9% to 12% increase before the impact of foreign currency.

"Aflac Japan gets high marks for a great fourth quarter and year, following strong sales results in 2009. Our strategy of offering relevant products through an expanding distribution system contributed to sales results that exceeded our targets for two consecutive years. 2010 was the year of the bank channel, having secured buy-in from more than 90% of banks in Japan who've agreed to sell Aflac products. We have also customized our product portfolio to appeal to new market segments by enhancing the benefits of our existing product line. In addition, our Japanese operations continued to improve top-line growth throughout 2010, while the expansion of the profit margin also enhanced Aflac Japan's earnings growth.

"We are also pleased with the operations and financial results of Aflac U.S. As we discussed throughout 2010, sales growth in the United States was primarily held back by the ongoing weak economic environment. We believe Aflac U.S. sales have been impacted by consumer confidence and small business sentiment that continues to hover at low levels. While we remain cautious in our short-term sales outlook

for Aflac U.S., our longer-term view has not changed. We believe the need for the products we sell remains very strong and we are taking measures to better reach potential customers through our product and distribution strategy. This includes broadening our product portfolio to include group products in addition to our traditional individually issued products.

"Furthermore, our balance sheet remained strong throughout 2010, and we believe that our investment approach of effectively matching assets to policy liabilities is the most prudent approach for our policyholders and shareholders. More than anything, we have intensely focused on assessing our capital level. Aflac's capital position from a U.S. regulatory standpoint steadily improved throughout 2010. Our goal was to end 2010 with a higher risk-based capital (RBC) ratio than our year-end 2009 RBC ratio of 479%. Although we have not yet finalized our statutory financial statements, we estimate our 2010 RBC ratio exceeded 580%. I believe our ability to maintain a strong RBC exemplifies our effective capital management strategy.

"Our decision as to whether to increase the dividend or repurchase our shares is a function of our capital position. As a result of strong capital levels and solid financial strength, I am pleased 2010 marked the 28th consecutive year Aflac has increased cash dividends. Our capital position also gave us the confidence to resume our share repurchase program, and we purchased two million shares in the fourth quarter. We anticipate repurchasing six to 12 million shares in 2011.

"As we look ahead to 2011 sales opportunities in the United States, with the unemployment rate showing little sign of improvement and the confidence of consumers and employers remaining relatively low, we expect sales to be flat to up 5% for Aflac U.S. In Japan, with two consecutive years of strong sales results, we expect sales to be in the range of down 2% to up 3%.

"As I commented in our third quarter release, we will likely be at the low end of the 8% to 12% range for operating earnings per share growth in 2011. Although interest rates have increased somewhat in the United States recently, they have not increased as much in Japan, and yen yields remain very low. If we assume 8% earnings per share growth, we would earn \$5.97 per diluted share, excluding the impact of the yen. If the yen averages 80 to 85 to the dollar for the full year, we would expect reported earnings to be in the range of \$6.09 to \$6.34 per diluted share."

ABOUT AFLAC

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For more than 55 years, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the number one provider of guaranteed-renewable insurance. In Japan, Aflac is the number one insurance company in terms of individual insurance policies in force. Aflac insurance products provide protection to more than 50 million people worldwide. For four consecutive years, Aflac has been recognized by *Ethisphere* magazine as one of the World's Most Ethical Companies and by *Forbes* magazine as one of America's Best-Managed Companies in the Insurance category. In 2010, Fortune magazine included Aflac on its list of Most Admired Companies for the ninth time and in 2011 recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work For in America for the thirteenth consecutive year. Aflac Incorporated is a Fortune 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac, visit aflac.com.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the fourth quarter of 2010 can be found on the "Investors" page at aflac.com, along with a complete listing of Aflac's investment holdings in the financial sector and a separate listing of the company's investments in perpetual securities.

Aflac Incorporated will webcast its fourth quarter conference call via the "Investors" page of aflac.com at 9:00 a.m. (EST) on Wednesday, February 2, 2011.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED DECEMBER 31,	<u>2010</u>	<u>2009</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 5,294	\$ 4,597	15.2%
Benefits and claims	3,263	2,956	10.4
Total acquisition and operating expenses	1,364	1,298	5.1
Earnings before income taxes	667	343	94.8
Income taxes	230	92	
Net earnings	\$ 437	\$ 251	73.7%
Net earnings per share – basic	\$.93	\$.54	72.2%
Net earnings per share – diluted	.92	.53	73.6
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	469,506	467,128	.5%
Diluted	473,758	471,121	.6
Dividends paid per share	\$.30	\$.28	7.1%

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

TWELVE MONTHS ENDED DECEMBER 31,	<u>2010</u>	<u>2009</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 20,732	\$ 18,254	13.6%
Benefits and claims	12,106	11,308	7.1
Total acquisition and operating expenses	5,041	4,711	7.0
Earnings before income taxes	3,585	2,235	60.4
Income taxes	1,241	738	
Net earnings	\$ 2,344	\$ 1,497	56.6%
Net earnings per share – basic	\$ 5.00	\$ 3.21	55.8%
Net earnings per share – diluted	4.95	3.19	55.2
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	469,038	466,552	.5%
Diluted	473,085	469,063	.9
Dividends paid per share	\$ 1.14	\$ 1.12	1.8%

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)

DECEMBER 31,	<u>2010</u>	<u>2009</u>	<u>% Change</u>
Assets:			
Total investments and cash	\$ 88,230	\$ 73,192	20.5%
Deferred policy acquisition costs	9,734	8,533	14.1
Other assets	3,075	2,381	29.1
Total assets	\$101,039	\$ 84,106	20.1%
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 82,456	\$ 69,245	19.1%
Notes payable	3,038	2,599	16.9
Other liabilities	4,489	3,845	16.8
Shareholders' equity	11,056	8,417	31.3
Total liabilities and shareholders' equity	\$101,039	\$ 84,106	20.1%
Shares outstanding at end of year (000)	469,661	468,568	.2%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED DECEMBER 31,	<u>2010</u>	<u>2009</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 628	\$ 558	12.6%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	(236)	(307)	
Impact from ASC 810	45	–	
Impact from ASC 815	–	–	
Extinguishment of debt	–	–	
Net earnings	\$ 437	\$ 251	73.7%
Operating earnings per diluted share	\$ 1.33	\$ 1.18	12.7%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	(.51)	(.65)	
Impact from ASC 810	.10	–	
Impact from ASC 815	–	–	
Extinguishment of debt	–	–	
Net earnings per diluted share	\$.92	\$.53	73.6%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

TWELVE MONTHS ENDED DECEMBER 31,	<u>2010</u>	<u>2009</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 2,618	\$ 2,277	15.0%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	(273)	(788)	
Impact from ASC 810	(1)	–	
Impact from ASC 815	–	(3)	
Extinguishment of debt	–	11	
Net earnings	\$ 2,344	\$ 1,497	56.6%
Operating earnings per diluted share	\$ 5.53	\$ 4.85	14.0%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	(.58)	(1.67)	
Impact from ASC 810	–	–	
Impact from ASC 815	–	(.01)	
Extinguishment of debt	–	.02	
Net earnings per diluted share	\$ 4.95	\$ 3.19	55.2%

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
 (SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED DECEMBER 31, 2010	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes²</u>
Premium income	10.1%	3.3%
Net investment income	10.0	5.2
Total benefits and expenses	8.8	2.1
Operating earnings	12.6	7.8
Operating earnings per diluted share	12.7	7.6

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
 (SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

TWELVE MONTHS ENDED DECEMBER 31, 2010	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes²</u>
Premium income	8.7%	3.6%
Net investment income	8.7	5.0
Total benefits and expenses	7.0	2.1
Operating earnings	15.0	11.0
Operating earnings per diluted share	14.0	10.1

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

2011 OPERATING EARNINGS PER SHARE SCENARIOS

<u>Average Exchange Rate</u>	<u>Annual Operating EPS</u>	<u>% Growth Over 2010</u>	<u>Yen Impact</u>
80	\$ 6.34 - 6.56	14.6 - 18.6%	\$.37
85	6.09 - 6.31	10.1 - 14.1	.12
87.69*	5.97 - 6.19	8.0 - 11.9	-
90	5.87 - 6.09	6.1 - 10.1	(.10)
95	5.68 - 5.90	2.7 - 6.7	(.29)

*Actual 2010 weighted-average exchange rate

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a "safe harbor" to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. We desire to take advantage of these provisions. This document contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by Company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC).

Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as "expect," "anticipate," "believe," "goal," "objective," "may," "should," "estimate," "intends," "projects," "will," "assumes," "potential," "target" or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements. We caution readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; defaults and downgrades in certain securities in our investment portfolio; impairment of financial institutions; credit and other risks associated with Aflac's investment in perpetual securities; differing judgments applied to investment valuations; subjective determinations of amount of impairments taken on our investments; limited availability of acceptable yen-denominated investments; concentration of our investments in any particular sector; concentration of business in Japan; ongoing changes in our industry; exposure to significant financial and capital markets risk; fluctuations in foreign currency exchange rates; significant changes in investment yield rates; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; subsidiaries' ability to pay dividends to Aflac Incorporated (the Parent Company); changes in law or regulation by governmental authorities; ability to attract and retain qualified sales associates and employees; decreases in our financial strength or debt ratings; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; failure to comply with restrictions on patient privacy and information security; level and outcome of litigation; ability to effectively manage key executive succession; catastrophic events; and failure of internal controls or corporate governance policies and procedures.

Analyst and investor contact – Robin Y. Wilkey, 706.596.3264 or 800.235.2667 option 3,
FAX: 706.324.6330, or rwilkey@aflac.com
Media contact – Laura Kane, 706.596.3493, FAX: 706.320.2288, or lkane@aflac.com

###